

第 102 回〔2026 年度〕 日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 エントリー手順指示書（登録団体用）

標記の競技会につきましては、WebSWMSYS を使用してエントリーを行います。
下記の内容をご熟読いただき、お間違いのないようにお申し込みください。

記

1, WebSWMSYS での操作について

□競技者登録

本競技会へのエントリーには、本年度の競技者登録を完了していることが必要のため、所定の手続きにて、競技者登録を完了すること。
また、エントリーに際し、学年、ローマ字氏名、国籍について再度確認すること。

□エントリー

WebSWMSYS の「オープンウォータースイミング：大会一覧」に表示される以下の競技会から、他の競技会と同様にエントリー種目・エントリータイムの登録を行うこと。

「(★○○○) 第 102 回〔2026 年度〕 日本選手権水泳競技大会 OWS 競技」

※「(★○○○)」には加盟団体名称が表示される。

なお、エントリーの際には出場資格を有していることが証明できる書類を任意の書式にて提出すること。

また、付添・給水コーチに関しては、上記の窓口から競技者をエントリーする際に同時に申請をした上で、以下の窓口から AD カード用の顔写真の登録を行うこと。

「(★○○○)【付添・給水 AD カード登録用】第 102 回〔2026 年度〕 日本選手権水泳競技大会 OWS 競技」

※「(★○○○)」には加盟団体名称が表示される。

□「集計」の実行

WebSWMSYS 上でのエントリー処理が終了したら、必ず「集計」処理を行うこと。

□競技者の英字氏名について

競技者の登録されている英字氏名について、必ず確認すること。原則、パスポート表記に準じることとし、ヘボン式での入力とする。WA への記録報告は、この情報をもとに行う。

全国大会へ出場する選手について、ローマ字氏名の再入力が必要となったため、WebSWMSYS の画面指示に従って、正しいローマ字氏名を入力すること。

□団体略称について

日本水泳連盟主催の競技会においては、登録団体略称は全角 6 文字までで設定することができる。なお、この際に全角と半角、どちらも使用することができ、半角 2 文字で全角 1 文字分とする。

□ドーピング・コントロールについて

本競技会のドーピング・コントロールについては、JADA の運用に準ずる。大会当日に未成年（18 歳未満）の競技者については、必要書類に本人及び保護者が署名し、選手本人が携帯すること。大会申込時の書類提出は不要。

□所属の併記について

第一区分、第二区分の両団体名称をプログラム等へ記載することを希望する場合には、WebSWMSYS にて二団体併記申請を行うこと。

2, 提出物

1) 全団体提出する必要があるもの

【WebSWMSYS】	・登録団体申込書 ・申込書兼誓約書 ・出場資格証明書 ・付添コーチ申請 ・給水コーチ申請 ・ADカード用写真（選手、付添）	※連盟 HP よりダウンロードする／PDF にて提出 ※連盟 HP よりダウンロードする／PDF にて提出 ※書式は問わない／PDF にて提出
-------------	--	---

2) 必要に応じて提出する必要があるもの

【WebSWMSYS】	・2団体併記申請 ・応援ADカード申請
-------------	------------------------

※処理が漏れている場合については、申請したとみなさないため、注意すること。

申込書兼誓約書については、WebSWMSYS にて PDF を提出した後、原本は大会会場に競技者が持参すること。

本競技会ではデジタル DX 推進の観点から、従来郵送にてご提出いただいていた書類（登録団体申込書、申込書兼誓約書、出場資格証明書等）を WebSWMSYS での一括集約に変更しております。WebSWMSYS の仕様上「画像を選択してください」と表示されますが、必ず PDF ファイルでのご提出をお願いいたします。提出の際には、エントリーする全ての競技者分を一つにまとめてください。

3, ADカードについて

□ADカードの種類

ADカードは「選手」「給水コーチ」「付添コーチ」「管理者」「応援」の5種類を設定している。それぞれ申請方法や写真の有無などが異なるため、よく注意すること。

□給水コーチについて

選手の競技中の安全管理のため、10km 種目については給水コーチの帯同を義務付ける。

給水コーチは、選手1名につき1名の申請をすることができ、給水コーチ1名につき、選手2名まで給水することができる。

□付添コーチについて

選手の競技中の安全管理のため、5km 種目については付添コーチの帯同を義務付ける。

付添コーチは、当該種目ごとの参加選手合計5名につき、1名申請することができる。なお、10km 給水コーチが当該種目の付添コーチを兼ねることができる。

□管理者について

競技会当日の団体の引率責任者として、全団体に1枚ずつ管理者ADを発行する。

WebSWMSYS の管理者に関する設問には、当日に確実に連絡が取れる責任者の情報を入力すること。

□応援ADについて

本競技会へ出場する団体（クラブ・学校等）の関係者が申込可能なADカードで、競技エリア内の指定された場所への入場ができる。申し込みは、必ず団体単位とし、公式練習日、競技実施日ともに、各日1枚ずつ必要となる記名式とする。記載されている日付において、一日通して有効で、記名した本人のみ使用可能となる。

なお、本競技会において応援席は設けない。1日1名につき2,000円で申請できる。申請後の変更、キャンセルは一切応じない。

□ADカード用写真の登録について

選手並びに付添・給水コーチは顔写真の提出が必要のため、エントリー締切日までに WebSWMSYS から写真を登録すること。エントリーや写真登録がない場合については、ADカードが発行できない。

①選手

本競技会に WebSWMSYS からエントリーをする際に、ADカード用写真を登録する。

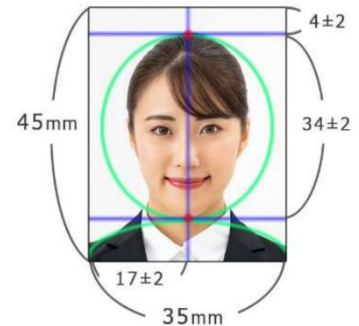
②付添・給水コーチ

本競技会専用の付添・給水 AD カード登録用の WebSWMSYS エントリー窓口を使用し、ADカード用写真を登録する。

- (1) 各団体に付添コーチをエントリー用登録する。(この際に絶対に正規登録はしない。) 競技者登録番号を有している場合には、引き継いで登録すること。
- (2) 付添コーチは、その性別に応じた5kmの種目にエントリーし、写真を登録すること。
給水コーチは、その性別に応じた10kmの種目にエントリーし、写真を登録すること。
なお、付添コーチと給水コーチを同一人物が兼ねる場合には、付添コーチへのエントリーのみで差し支えない。(5kmと10kmの両方に登録する必要はない。)

□ADカード用写真の注意事項について

- ・写真の縦横比率は4.5:3.5とすること。
- ・写真はカラーであること。
- ・服装はチームジャージであること。※服を着ていない写真は不可。
- ・写真の背景は白もしくは無地の薄い青であること。
- ・宗教上、医療上の理由を除き、顔を隠すような物(帽子・スカーフ・ヘアバンド等)や、マスク、サングラス等は身に付けないこと。
- ・顔を正面に向け、口を閉じ、目はきちんと開いていること。
- ・画像データはJPEG形式かつ300KB以上のサイズであること。



※上記内容を満たさない場合については、再度提出を求める場合がある。

4, 参加費の振込について

登録団体からの参加費は、各加盟団体の指定する口座に振込を行うこと。登録団体から直接、日水連への支払いは発生しないため、振込先には十分注意すること。

5, エントリー締切について

各加盟団体の指定する期日までに対応すること。

6, エントリー公開について

公益財団法人日本水泳連盟の大会HPにて、9月14日(月)、15日(火)の間でエントリー公開を行う。万が一、掲載内容について不備があった際には、下記の大会実行委員会までメールにて連絡すること。

以上

問い合わせ先

公益財団法人日本水泳連盟
第102回〔2026年度〕日本選手権水泳競技大会 OWS競技 大会実行委員会

Mail: information@jasf-ows.com